

平成28年度こころ総評

平成28年度のこころは「生活の質を向上させる為のベースケアの徹底」「介護施設入居者と地域の要介護者の生活像の同等化を目指す」「多職種連携の強化」「業務の標準化」「経営の安定」を事業目標として取り組んでまいりました。

入居では「水分・食事・排泄・運動」の基本ケアの徹底を実施し、まだまだではありますがその評価として専門職、ユニット毎に年度末に行う事例検討会が定着しております。

基本ケアをしっかりと行い、日中活動することにより夜間は良眠する方が増えてきたように感じられます。

ケアカンファレンスでは25名程のご家族に出席していただきましたがその反面、年度末に実施したアンケートではケアプランの内容が分かりづらいとの指摘もありましたので次年度は半数以上の出席を目標としつつも、来られない方に関しては面会時等に納得していただける説明ができる仕組みを整えてまいります。

入居の経営面では、目標稼働率を達成する事はできませんでしたが、収入額は目標に対し達成率が98%、対前年比の請求実績はプラス3,100千円でした。平均介護度が若干上がった事と、歯科衛生士による口腔ケア加算がプラスの要因となっています。ショートステイは目標稼働率をクリアし、収入額も目標達成率103%、対前年比の請求実績はプラス4,000千円でした。毎年決まって冬期にご利用される方や、本入居を待って長期ご利用される方が多いのですが、新規開拓が今後の課題です。

デイサービスは看護師による個別の歩行支援などの機能訓練がマンツーマンでしっかり見てもらえるのが良いとのご意見をいただきました。また、前年度に引き続き「介護お助け隊」と題して配食弁当とセットで利用者の安否確認などを実施してまいりました。

デイサービスの経営面は、目標稼働、目標収入額を大きく下回り、請求実績も対前年マイナス8,500千円と落ち込んでしまいました。利用者の確保ができず、また、平均介護度が昨年度より下がり、7～9時間利用者が少ないのが現状です。今後、居宅介護支援事業所への訪問を頻繁に行う事や、受け入れ態勢を十分にするための職員教育の徹底を図ってまいります。

経費では、事務費の支出が対前年を大きく上回ってしまいました。団体医療保険の施設負担やリフレッシュ休暇手当の付与による福利厚生費の増、全館イス、ソファのクリーニング、除雪作業費の支払いによる清掃業務、その他の委託費の増と修繕費も対前年730千円の増となっております。研修費の支出も増となりましたが職員のレベルアップには必要不可欠であるため、今後は計画的に効率よく外部研修を考えていきたいと思っております。昨年度導入しました電力削減装置は対前年1,400千円ほど電気料金の削減ができており一定の効果を上げているものと思われま。設備資金の借入返済ですが、今年度は元金25,836千円、利息7,019千円でしたが、来年度は元金25,836千円、利息が9,301千円になります。また、正職登用による正規職員の人数が増えたことによる人件費の増も確実となります。稼働率のアップ、経費削減に努めてまいります。